様式３（2020.06改）

作成日　令和　3年　3 月　 8日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2394800045
事業所名	グループホームぴいす

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	町内会に加入し、回覧板を通して地域情報を収集や散歩時近隣住民と挨拶を交わす等の交流を図っている。推進会議に近隣住民の参加が得られたり、地域所有の倉庫の鍵を預かったり、協働関係を深めている。星城高校の「花あふれる街つくりプロジェクト」「脳トレプロジェクト」等の地域協働プロジェクトに協力し連携を図っている。 同法人の放課後デイサービスとの交流にて、サービス利用者との関わりを深めている	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	推進会議は年6回定期的に開催し、市健康長寿課職員、包括職員、家族、利用者の参加を得て、情報交換や意見交換の場として活用している。日常の生活風景や活動の様子をパワーポイントを使用して判りやすく周知し、運営状況の理解を深め協働関係を深めている。今年度は感染予防策を十分に図り、地域としての感染対策取り組み強化へ意識付けと連携を図る事ができている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	市担当窓口には、推進会議議事録や事故報告書提出等で顔を合わせ、運営の実情を周知し協働関係を深めている。感染症対策への相談等、何かあれば電話で相談したり、SNSで情報を得て運営に役立てている。毎月、健康相談員の訪問がある。包括と連携し認知症カフェを運営しているが、今年度は感染対策にて見送りとなっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	意見箱の設置があり、常時意見や要望を受け止める仕組みがある。「ぴいす通信」を発行し、運営推進会議の案内状を添えて郵送している。 面会時に話をする機会を設けたり随時電話で近況を報告し、要望があれば職員に周知し支援に反映している。 毎年家族会を含めた周年記念イベントを企画し、家族との親睦を深めている(今年度は自粛)。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総　合　評　価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価				○	○	○	○	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										